【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年6月16日(2022.6.16)

【公開番号】特開2020-61116(P2020-61116A)
【公開日】令和2年4月16日(2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報2020-015
【出願番号】特願2019-74267(P2019-74267)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ 16/2458(2019.01)
Ｇ０６Ｑ 50/16(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ 16/2458
Ｇ０６Ｑ 50/16 ３００

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月7日(2022.6.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
検索対象を検索するためのコンピュータシステムであって、前記コンピュータシステムは、
複数の検索条件を特定する特定手段と、
前記複数の検索条件のそれぞれに対応する複数の優先順位を示す情報を受信する手段と、
前記複数の検索条件と前記複数の優先順位とに基づいて、複数の検索対象のそれぞれの総合点を算出する算出手段と、
前記複数の検索条件と前記複数の優先順位とに基づいて算出された前記複数の検索対象のそれぞれの総合点に基づいて、少なくとも１つの検索対象を検索結果として特定する特定手段であって、前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象は、前記検索条件を満たさない検索対象を含む、特定手段と、
前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象を提示する提示手段と
を備え、
前記複数の検索条件は、第１の検索サブ条件と第２の検索サブ条件とを含み、前記第１の検索サブ条件は、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の上限値以下であるという条件、または、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、前記第２の検索サブ条件は、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の上限値以下であるという条件、または、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の下限値以上であるという条件であり、
前記コンピュータシステムは、
前記第１の検索サブ条件に対応する第１の優先順位を示す情報に基づいて、複数の関数のうちの第１の関数を選択する第１の選択手段であって、前記第１の優先順位は、前記複数の優先順位のうちの１つである、手段と、
前記第２の検索サブ条件に対応する第２の優先順位を示す情報に基づいて、前記複数の関数のうちの第２の関数を選択する第２の選択手段であって、前記第２の優先順位は、前記複数の優先順位のうちの１つであり、前記第２の関数は、前記第１の関数とは異なる、手段と

をさらに備え、
前記算出手段は、前記複数の検索対象のうちの１つの検索対象ごとに、
前記第１の検索サブ条件が、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の上限値以下であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値が前記第１の上限値よりも大きい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値と前記第１の上限値との差分に前記第１の関数を適用することによって、または、前記第１の検索サブ条件が、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値が前記第１の下限値よりも小さい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値との前記第１の下限値との差分に前記第１の関数を適用することによって、前記１つの検索対象の前記第１の項目に対する第１の点数を決定し、
前記第２の検索サブ条件が、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の上限値以下であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値が前記第２の上限値よりも大きい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値と前記第２の上限値との差分に前記第２の関数を適用することによって、または、前記第２の検索サブ条件が、検索対象に関連する第２の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値が前記第２の下限値よりも小さい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値との前記第２の下限値との差分に前記第２の関数を適用することによって、前記１つの検索対象の前記第２の項目に対する第２の点数を決定し、
前記第１の点数および前記第２の点数に少なくとも部分的に基づいて、前記１つの検索対象の総合点を算出する、コンピュータシステム。
【請求項２】
前記第１の関数および前記第２の関数のそれぞれは、非二値関数である、請求項１に記載のコンピュータシステム。
【請求項３】
前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象の中から選択された検索対象を示す入力を受信する受信手段と、
前記選択された検索対象を３次元表現で提示するためのウェアラブルデバイスと
をさらに備える、請求項１または請求項２に記載のコンピュータシステム。
【請求項４】
前記少なくとも１つの検索対象は、少なくとも１つの不動産物件である、請求項１～３のいずれか一項に記載のコンピュータシステム。
【請求項５】
検索対象を検索するためのコンピュータシステムにおいて実行される方法であって、
前記コンピュータシステムは、プロセッサ部を備え、
前記方法は、
前記プロセッサ部が、複数の検索条件を特定することと、
前記プロセッサ部が、前記複数の検索条件のそれぞれに対応する複数の優先順位を示す情報を受信することと、
前記プロセッサ部が、前記複数の検索条件と前記複数の優先順位とに基づいて、複数の検索対象のそれぞれの総合点を算出することと、
前記プロセッサ部が、前記複数の検索条件と前記複数の優先順位とに基づいて算出された前記複数の検索対象のそれぞれの総合点に基づいて、少なくとも１つの検索対象を検索結果として特定することであって、前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象は、前記検索条件を満たさない検索対象を含む、ことと、
前記プロセッサ部が、前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象を提示することと
を含み、
前記複数の検索条件は、第１の検索サブ条件と第２の検索サブ条件とを含み、前記第１の

検索サブ条件は、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の上限値以下であるという条件、または、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、前記第２の検索サブ条件は、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の上限値以下であるという条件、または、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の下限値以上であるという条件であり、
前記方法は、
前記第１の検索サブ条件に対応する第１の優先順位を示す情報に基づいて、複数の関数のうちの第１の関数を選択することであって、前記第１の優先順位は、前記複数の優先順位のうちの１つである、ことと、
前記第２の検索サブ条件に対応する第２の優先順位を示す情報に基づいて、前記複数の関数のうちの第２の関数を選択することであって、前記第２の優先順位は、前記複数の優先順位のうちの１つであり、前記第２の関数は、前記第１の関数とは異なる、ことと
をさらに含み、
前記算出することは、前記複数の検索対象のうちの１つの検索対象ごとに、
前記第１の検索サブ条件が、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の上限値以下であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値が前記第１の上限値よりも大きい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値と前記第１の上限値との差分に前記第１の関数を適用することによって、または、前記第１の検索サブ条件が、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値が前記第１の下限値よりも小さい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値との前記第１の下限値との差分に前記第１の関数を適用することによって、前記１つの検索対象の前記第１の項目に対する第１の点数を決定することと、
前記第２の検索サブ条件が、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の上限値以下であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値が前記第２の上限値よりも大きい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値と前記第２の上限値との差分に前記第２の関数を適用することによって、または、前記第２の検索サブ条件が、検索対象に関連する第２の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値が前記第２の下限値よりも小さい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値との前記第２の下限値との差分に前記第２の関数を適用することによって、前記１つの検索対象の前記第２の項目に対する第２の点数を決定することと、
前記第１の点数および前記第２の点数に少なくとも部分的に基づいて、前記１つの検索対象の総合点を算出することと
を含む、方法。
【請求項６】
検索対象を検索するためのコンピュータシステムにおいて実行されるプログラムであって、
前記コンピュータシステムは、プロセッサ部を備え、
前記プログラムは、前記プロセッサ部によって実行されると、
複数の検索条件を特定することと、
前記複数の検索条件のそれぞれに対応する複数の優先順位を示す情報を受信することと、
前記複数の検索条件と前記複数の優先順位とに基づいて、複数の検索対象のそれぞれの総合点を算出することと、
前記複数の検索条件と前記複数の優先順位とに基づいて算出された前記複数の検索対象のそれぞれの総合点に基づいて、少なくとも１つの検索対象を検索結果として特定することであって、前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象は、前記検索条件を満たさない検索対象を含む、ことと、
前記検索結果として特定された前記少なくとも１つの検索対象を提示することと
を少なくとも実行することを前記プロセッサ部に行わせ、

前記複数の検索条件は、第１の検索サブ条件と第２の検索サブ条件とを含み、前記第１の検索サブ条件は、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の上限値以下であるという条件、または、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、前記第２の検索サブ条件は、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の上限値以下であるという条件、または、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の下限値以上であるという条件であり、
前記プログラムは、
前記第１の検索サブ条件に対応する第１の優先順位を示す情報に基づいて、複数の関数のうちの第１の関数を選択すること前記第１の優先順位は、前記複数の優先順位のうちの１つである、ことと、
前記第２の検索サブ条件に対応する第２の優先順位を示す情報に基づいて、前記複数の関数のうちの第２の関数を選択することであって、前記第２の優先順位は、前記複数の優先順位のうちの１つであり、前記第２の関数は、前記第１の関数とは異なる、ことと
をさらに実行することを前記プロセッサ部に行わせ、
前記算出することは、前記複数の検索対象のうちの１つの検索対象ごとに、
前記第１の検索サブ条件が、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の上限値以下であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値が前記第１の上限値よりも大きい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値と前記第１の上限値との差分に前記第１の関数を適用することによって、または、前記第１の検索サブ条件が、検索対象に関連する第１の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値が前記第１の下限値よりも小さい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第１の項目の値との前記第１の下限値との差分に前記第１の関数を適用することによって、前記１つの検索対象の前記第１の項目に対する第１の点数を決定することと、
前記第２の検索サブ条件が、検索対象に関連する第２の項目の値が第２の上限値以下であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値が前記第２の上限値よりも大きい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値と前記第２の上限値との差分に前記第２の関数を適用することによって、または、前記第２の検索サブ条件が、検索対象に関連する第２の項目の値が第１の下限値以上であるという条件であり、かつ、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値が前記第２の下限値よりも小さい場合には、前記１つの検索対象に関連する前記第２の項目の値との前記第２の下限値との差分に前記第２の関数を適用することによって、前記１つの検索対象の前記第２の項目に対する第２の点数を決定することと、
前記第１の点数および前記第２の点数に少なくとも部分的に基づいて、前記１つの検索対象の総合点を算出することと
を含む、プログラム。